

# 宗教専門紙の記事から

2013年4月～6月

宗教専門紙のうち、神社新報、仏教タイムス、新宗教新聞、キリスト新聞、カトリック新聞、クリスチヤン新聞、中外日報の記事から主なものをとりあげ紹介する。なお神社新報の原文は旧仮名遣いだが、引用箇所以外は新仮名遣いに改めてある。

## 4月

### 神社新報

#### \*「国宝・大神社展」が開幕

伊勢神宮の第62回式年遷宮が10月に行われるにあたり、神社本庁が記念事業の一つとして特別協力し、NHK・NHKプロモーションの主催する「国宝・大神社展」が4月9日に東京国立博物館で開幕した。8日の報道内覧会では同館研究員が本展の意義を「日本の基層文化をなすもの」とく強調し、とくに古神宝と神像について説明した(15日付)。開幕日には神社本庁の顧問・長老・参与会が同館において開催された(22日付。『ラーク便り』57号13頁参照)。

#### \*伊勢神宮・遷宮関連

く秋篠宮・同妃両殿下、佳子内親王殿下並びに悠仁親王殿下には、3月25日に伊勢の神宮に参拝され、前日には「せんぐう館」をく御視察された。同館でく悠仁親王殿下には>体験型講座用教材の一般的な神明造の模型をく手にとられ、興味深げに体験された(8日付)。

伊勢神宮式年遷宮広報本部は外国人向け英文解説冊子『Soul of JAPAN - An Introduction to Shinto and Ise Jingū -』を発行した。これまでの英訳解説書等では「神社」を「Shrine」などと表記していたが、すで

に「Shinto」(神道)が日本語のままでも海外で通用するようになっており、「神社」も「Jinja」と表記してくその定着化を図ることとした(15日付)。

式年遷宮のお白石持行事を今夏に控え、旧神領民が伊勢市の二見興玉神社に参拝する浜参宮が4月4日に始まった。浜参宮は伊勢神宮に参拝する前に二見浦で禊を行ったという古儀に倣うもの(15日付)。

#### \*靖国神社例大祭 政治家の動向

靖国神社の春季例大祭が4月21～23日に行われた。政治家の動向。安倍晋三首相は同神社から例大祭参列の案内を受け、真木一基を「内閣総理大臣」の肩書きで奉納した。閣僚は麻生太郎副総理ら3人が参拝。23日には超党派の「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」が6人の副大臣を含む、衆議院議員184人(うち代理47人)と参議院議員46人(うち代理17人)の計230人で参拝した。同会会长の尾辻秀久参議院議員は中国や韓国が閣僚などの参拝に対して反発していることについて「理解できない」と語った(29日付)。

#### \*カザフスタンから田中総長に勲章

カザフスタンの国立勲章「シャパガト」が4月20日に神社本庁において、同国のカイラト・ラマ・シャリフ宗務長官らによって、同本庁の田中恆清総長に授与された。これは慈悲や人間関係の調和への功績があった人物に贈られるもので、カザフスタン政府が主催する「世界伝統宗教指導者会議」に神社本庁が第1回から代表団を派遣していることを高く評価したものの。田中総長は数ある宗教国際会議のなかでも、政府主催で国を挙げて開催する例はほかにないことを指摘した(29日付)。

#### \*神社振興対策教化モデルで研究、研修

神社振興対策教化モデル神社宮司研究会が3月25～26日に神社本庁で開催された。挨拶に立った田中恆清・神社本庁総長は、国民の意識変化、少子高齢化・過疎化の進